

## 市役所

### ビジネスプロジェクター 高輝度モデル 導入事例

使用機種: EB-L1505UH×2台

用 途: インフォメーションディスプレイ

#### 新潟市役所

所在地: 新潟県新潟市中央区学校町通1番町602番地1

最寄駅: JR越後線白山駅

<https://www.city.niigata.lg.jp/>

新潟市は、1889年の市制施行以来約130年の歴史を持ち、本州の日本海側では最大の都市だ。2007年には政令指定都市となり、2018年現在で8行政区に約80万人が住んでいる。その市役所は、本館・分館・白山浦庁舎の3か所があるが、この度、その“顔”ともいえる本館1階に2台のプロジェクターを導入し、壁面の一部をプロジェクションマッピングによるインフォメーションディスプレイ化。市外からの来賓などに向かって、市政や行事、新潟市のPRなどに活用されている。



型 番: EB-L1505UH

価 格: オープンプライス

明るさ: 12,000lm

解像度: WUXGA

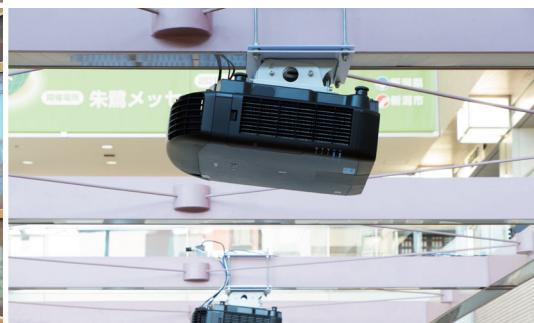
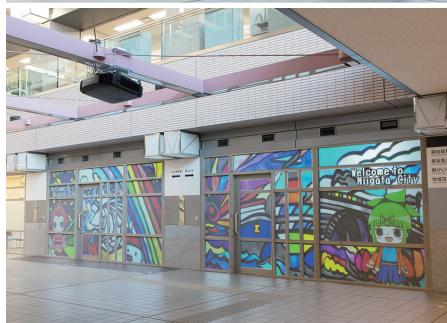


#### Before 導入課題

- 明るく開かれた雰囲気の庁舎にしたい
- 来庁者の印象に残る演出を行いたい
- 効果的なPRを行いたい

#### After 導入効果

- 来庁者をお迎えする場にふさわしい、明るく開かれたスペースになった
- 市の魅力を常時発信できる場ができる



新潟市役所本館の正面玄関入り口から入って右側にプロジェクターが2台設置され、木組みの格子が入った壁面に市のPR映像などがプロジェクションマッピングされている。画面サイズは200インチを超えるものが2面とかなりの迫力だ。コンテンツには、市の観光PR映像やキャラクターのほか、市主催のフォトコンテストの入賞作品なども採用され多彩。静止画も多用され、来庁者が映像を背景に記念写真を撮れるような工夫もされている。

## 「プロジェクター導入で市役所が“市の魅力発信の場”にリニューアル」

### 導入背景

### 市役所の“顔”である本館1階を明るく開かれた雰囲気を感じられるスペースに

EB-L1505UHの導入について、その背景や目的を新潟市役所の本間さんに伺った。「本館1階には同市中央区の区役所があり、窓口業務を行っていたため多くの市民の方が来庁されて賑わっていましたが、2017年8月に区役所が移転。その後、本庁部署の執務室にしましたので、以前に比べると来庁者が減り、寂しいと感じる方もいらっしゃいました。私たちも本館1階は市役所の“顔”といえる場所であり、市外からの来賓などお迎えする場所なので、明るく開かれた場所にしたいという思いがありました。その実現に向けたアプローチの1つとして、市のPR映像などを使った映像演出を計画。といっても、モニターなどにただ映像を映した

だけでは、来庁者の注目を集めることは難しいと考え、プロジェクターを使用して執務室壁面へのプロジェクションマッピングを行うことにしました」とのこと。限られた予算内でコストパフォーマンスに優れ、メンテナンス性や設置の自由度が高く、かつ窓からの外光も入るため、10000lm以上の明るさの得られる機材が必要という課題があったという。



新潟市 総務部 総務課  
副主査  
本間祐太さん

選定理由

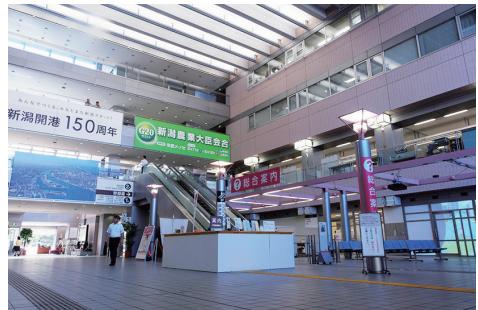
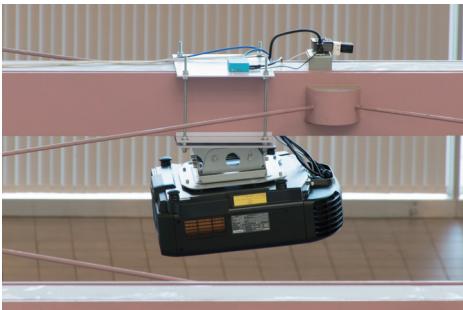
レーザー光源採用機で多くの課題をクリアできました

新潟市役所の要請を受け、機材選定や空間及びコンテンツのプロデュースなどを行った株式会社ソルメディエージの丸山さんにEB-L1505UHを選定するに至った経緯を伺った。「計画段階で課題となつたコストやメンテナンス性や設置の自由度の高さ、明るさをクリアするには、頻繁なランプ交換の必要がなく、レーザー光源採用のプロジェクターが最適だと判断しました。しかも、コストパフォーマンスに優れ、比較的軽量である点からエプソン製を選択。中でも、十分な明るさが得られるということでEB-L1505UHを採用することにしました。3LCD方式の採用で色再現に優れ、高コントラストな映像が投写できる点も魅力で、消費電

力が少なく100V電源が使えるというメリットもあり、設置や施工もスムーズに行うことができました。映像の入力についてはさまざまな方法を模索したのですが、最終的にはプロジェクションマッピングに対応した小型のセットアップボックスをプロジェクターの直上に設置し、HDMI入力で対応。とはいって、4KコンテンツやHD Base-Tでの入力なども可能であり、今後の発展性の面でも安心して導入できました」という。



株式会社ソルメディエージ  
代表取締役  
丸山健太さん



プロジェクターの設置には、既存の照明用フレームを活用。機材が軽量なため、強度面での問題もなく施工はスムーズに行えたとのこと。レンズには超短焦点のズームレンズを使用し、来庁者が壁面に近づいても影が出にくいように配置を工夫したという。映像が取出されるセットアップボックスをプロジェクターの直上に配置。タイマーで電源のオン、オフを行い自動的に映像が投写されることで、日常の操作の省力化も図られている。

導入効果

明るく開かれた雰囲気が感じられ、来庁者からも好評

導入後の効果について本間さんに伺った。「導入からまだ日が浅いものの、明るく開かれた雰囲気を感じていただくという導入の目的は達成できたと考えています。明るく賑やかな大画面のプロジェクションマッピング映像に歩みを止めて見ていらっしゃる方を見かけることもあり、新潟市の魅力を市外からの視察や表敬訪問のお客様が受け止めてくださることを期待しています。今回、システムを整えたことで、コンテンツ次第でさまざまな活用が可能となったので、市の魅力や取り組みを伝える有効なツールとして使いこなしていきたい」とのことであった。



プロジェクションマッピングで壁面の格子を生かした映像演出を可能としたことで、来庁者の注目度も高まっているという。格子は木の質感を生かした温もりを感じられるもの。投写される面は、ガラスに光を透過しないホワイトフィルムを貼ってスクリーンとした。設置場所は吹き抜けのある広いスペースであり、今後は広さも生かした、幅広い活用法を考えたいといふ。

今後の展望

発展性の高いシステムにより様々な活用が可能

今後の展望について、新潟市役所の本間さんによると、これから新潟市では新潟開港150周年記念イベントやG20サミットなどの実施が予定されており、こうしたイベントなどのPRに活用していきたいとのこと。今後、市役所本館1階の正面入口まわりのリニューアルを進めていく計画があり、今回設置したシステムが、さらに生きてくるのではないかとのこと

だった。また、丸山さんによると今回のシステムは、4K入力やHD Base-T対応などプロジェクターの発展性も高いことから、パブリックビューイングなどにも対応可能で、アイデアやコンテンツ次第で、さらなる市民サービスにも役立てられるのではないかとのこと。その点については、本間さんも積極的に取り組んでいきたい様子であった。



レーザー光源がもたらす  
明るさと高コントラスト



3LCD方式ならではの  
色再現性と明るいカラー



にじみのないクリアな映像を  
映し出す高性能レンズを搭載



安心して使用できる  
充実の保証



小型化と高効率化を  
実現



明るい大画面と  
静音性を両立

※1: 3年または20000時間のどちらか早い方となります。